# KADENA SKOSHI

OCTOBER 2008 Vol. 1

第18航空団広報局発行

## はじめまして！“SKOSHI KADENA”です

2008年10月から嘉手納基地のホームページに日本語ページを加えました。嘉手納基地は米国空軍の軍人だけでなく、海兵隊、海軍、陸軍の軍人、軍属、その家族、そして地元沖縄の従業員などおよそ2万4千人の人々の仕事の場、そして生活の場となっています。本ページではそこに勤務する人々や、生活する人々、日米の文化 親善交流活動に焦点をあて嘉手納基地の活動を紹介していきます。普段の私達を”スコシ”垣間見ることが出来ると思います。

嘉手納基地第18広報局 スコシ・カデナ編集班


Page 2... 米国パラリンピック選手団と地元アスリートとの交流
嘉手納外語塾ボーリング大会

Page 3... 英語サマーキャンプで築いた新たな友情（玉城少年自然の家）

Page 4... 文化の架け橋
インターナショナル・ロックイン

Page 5...
!!!今月のSpotLIGHT
嘉手納基地で働く様々な職種の日本人従業員にスポットをあてて毎月紹介して行くコーナーです。意外な発見があるかも...必見です！

Page 6... 沖縄の海保護活動：カデナ・マリーナちゅら海コーラル・プロジェクト

Page 7... 戦後を振り返る：島袋栄一郎さん米国の沖縄復興支援について語る

Page 8... 地域住民の基地内参拝を支援する第18航空団


## 2008年嘉手納スペシャルオリンピックス大会開催！

沖縄の障害のある人々のためスポーツ大会や美術作品展示会を開催することにより、嘉手納基地と地域の方々の交流を目的とした嘉手納スペシャルオリンピックス大会が今年も開催されます。本大会、関連イベントの日程は以下の通りです。作品展示会に多くの方々のご来場をお待ちしています。

（写真提供：嘉手納スペシャルオリンピックス）

1．嘉手納スペシャルオリンピックス　美術作品展示会
日時：10月23日～10月26日　午前10時～午後8時
場所：サンエー具志川メインシティー　1階イベントフロア

2．嘉手納スペシャルオリンピックス　ボウリング大会
日時：10月11日（土曜日）　午前9時～午後12時30分
場所：北谷町シーサイドボウル美浜

3．嘉手納スペシャルオリンピックス大会
日時：11月8日（土曜日）　午前9時45分開会式
場所：嘉手納基地ライズナー体育施設（陸上競技場他）

＊台風等の悪天候の際は、11月15日（土）に延期致します。

**通訳ボランティア募集中！**

展示会やスポーツ競技参加申し込みはすでに終了していますが、通訳ボランティアを募集中です。

関心のある方は 098-961-3911（狩俣）までご連絡下さい。

嘉手納スペシャルオリンピックスWEB サイト
http://kadenaspecialolympics.com/index_files/Page3206.htm

Kadena Special Olympics

## 米国パラリンピック選手団、沖縄のアスリートと交流

# 2008 BEIJING PARALYMPICS

嘉手納基地：2008年8月27日、北京パラリンピックに向けて嘉手納基地で合宿を続けている米国のパラリンピック選手団は、パラリンピック日本代表で沖縄出身の上与那原選手、仲里選手を含む沖縄のアスリートと嘉手納基地で交流を行った。米国選手団の陸上競技に参加する選手やコーチは、同じように車椅子で地元のマラソンや競技大会等に参加している沖縄のアスリートと、日頃のトレーニングや自己ベストタイム等を話し意見交換を行った。沖縄のアスリートが空手を披露するなど、和やかな雰囲気で交流会は行われた。米国選手から記念として、パラリンピック米国選手団のピン(胸に着用する)とサイン入りポスターが沖縄のアスリート達へ贈られた。日本代表の上与那原選手、仲里選手は米国代表選手とお互いに北京大会での健闘を誓い合った。

(競泳選手・交流会写真全て、米空軍：チャッド・ウォーレン一等兵撮影)

(トラック競技写真全て、米空軍：アーロン・ジョンソン一等兵撮影)

## 基地内の中高生（カデナ・ティーンセンター）と嘉手納外語塾生の交流ボウリング大会

(ボーリング写真全て、米空軍：金城順子撮影)

嘉手納基地には基地内の中高生が放課後や休日の余暇を過ごせるTeen Center（ティーンセンター）とよばれる青少年のための活動拠点があります。8月20日ティーンセンターに通う基地内の中高生と嘉手納町立外語塾生の交流ボウリング大会が嘉手納基地のエメリー レーンで行われました。ティーンセンターと嘉手納外語は毎月2回交流を行っています。嘉手納外語塾生の英会話力向上を目的としたこの交流は、日米のお菓子の試食会・意見交換からゲームやスポーツと多岐に渡ります。

# BOWLING EXCHANGE

# 英語サマーキャンプで築いた新たな友情

第18航空団広報局
ネスター・クルーズ二等軍曹

嘉手納基地：8月7日、沖縄県内の中学生と米国人中学生約60名が玉城少年自然の家に集い、ゲーム等を通して文化交流を行った。

この交流会は、那覇地区管内の中学生を対象に例年開催されている英語サマーキャンプの一環として行われた。

「毎年、那覇教育事務所が主催している英語サマーキャンプに、今回初めて嘉手納基地内の中学生が交流会を通して参加させて頂きました」と話すのは嘉手納基地第18航空団広報局渉外部の當間桂子渉外官。

交流会は那覇教育事務所の職員、當間渉外官、そして基地内ティーンセンター職員によって調整された。

「ティーンセンターの中学生を交流会に参加させた理由は、沖縄の文化を知り経験するという機会を与えたかったからです」と第18部隊支援中隊のティーンセンターでマネージャーを務めるタミー テイラーさんは話す。

「交流会に参加させてもらったスタッフと生徒達からは、とても良い経験ができたという感想ばかりでした。今後もこのようなイベントや他の交流会にも参加したいと思っています」とテイラーさん。

8月7日、玉城少年自然の家でシャミーカ アンドリューさん(左)と荷川取有香さんが「じゃんけん」をしている様子。約60名の日米中学生が交流会に参加した。
(米空軍：金城順子撮影)

英語サマーキャンプで日米の中学生がゲームをしている様子。
(米空軍:金城順子撮影)

トラビス・ワイアット君(左)とデスティニー・ミッチェルさんがショーン・シェイバーさんのギターに合わせながら、交流参加者をリードして「リーン・オン・ミー」を歌っている様子。米国人ティーンが英語サマーキャンプに参加するのは今回が初めて。
(米空軍:金城順子撮影)

今回の交流会では、日米の中学生はグループごとに自己紹介をし、歌やゲームを行って交流を深めた。交流会に参加した日米双方の参加者の反応から、全体的にとても良い交流会になったようである。

テイラーさんは、「ティーンセンターの生徒達は、この素晴らしい機会を通して沖縄の文化に触れ、新たな友人を作ることができました」と話した。

SUMMER CAMP in TAMAGUSUKU

# 文化の架け橋

第18航空団広報局
アンジェリーク・ペレズ二等軍曹

2008年8月2日 嘉手納基地-- 嘉手納基地ユースセンターにて約40人の日米の小学生たちが「インターナショナル・ロックイン」（一泊二日の交流イベント）に参加、ゲーム等を通して友情を深めた。(記：lock-in というタイトルにもあるとおり、子供たちを「閉じ込めて」一晩中でも遊んでもらおうという企画です。)
嘉手納基地のユースセンターと北谷ライオンズクラブが嘉手納基地渉外部の協力の元、毎年主催しているイベントで今年で6年目になる。

石本練連くん（左）と真栄城兼和くんが8月2日嘉手納基地ユースセンターでも開催されたロックインでフッスボールゲームを楽しむ
（米空軍：アンジェリーク・ペレズ2等軍曹撮影）

通常ロックインのような活動は子供たちがお互いなじむまで時間を要するので、今回は子供たちの緊張をほぐし、互いに慣れ親しむため、まず場を和ませるゲームなどを最初に取り入れたと、ユースセンターのテレサ ウィッチェン施設長は話した。

「子供たちは最初、個々のグループで活動することが多いのですが、交流活動が進むにつれ、少しづつ歩みより、翌朝までには仲良くなって遊んでいます」とウィッチェンさんは話す。

言葉や文化の違いはあるものの、子供たちには共通点がたくさんあるようだ。

「このように積極的に子供たちが交流しているのがうれしい。言葉が話せなくてもテレビゲームやドッジボール、遊戯王カードになるとみんなよくわかっています。子供たち同士が共通点を見つけるのが大切。」とウィッチェンさんは話す。

沖縄の子供たちにとってはロックインは積極性を学ぶ機会にもなった。

このプログラムは日本人の子供たちに積極的になる機会を与えてくれる」と北谷ライオンズクラブ会長の兼城和美さんは言う。「ほとんどの日本の子供たちは照れ屋でリーダシップに弱い部分があるようです。でも、アメリカ人の子供たちはとても積極的ですね。」

「このイベントに参加して、アメリカ人の子供たちの積極さを見て影響され、学校に戻った時にリーダ的存在になることができれば良いと思います。」

今年2月から、日米それぞれ5人の代表の子供たちが毎月集まり、イベントを企画した。
「ある月は、ユースセンターでスパッゲティーを食べながら、また別の月は、日本のお宅で和食を食べながら子供たちが企画しました。また、今回ロックインの夕食として出されている日米の食べ物の試食も行いました。」とウィッチェレンさんは話す。

沖縄とアメリカの子供たちの友情を深めることができたのでこのロックインは大成功でした。

「子供は子供。沖縄の子であろうが、アメリカの子であろうが関係ない。子供たちは楽しい事を望んでいるので、文化の壁さえ乗り越えれば、グループを作って楽しい時間を過ごすことができるのです」

日米の子供たち約40名が嘉手納基地ユースセンターで宿泊交流に参加した。嘉手納基地ユースセンターと北谷ライオンスクラブが主催するこのイベントは今年で6年目。（米空軍：アンジェリーク・ペレズ2等軍曹撮影）

インターナショナルロックインにて沖縄とアメリカの子供たちがノット（結び）ゲームを遊ぶ。このイベントは沖縄とアメリカの子供たちの交流促進を目的に毎年開催されている。
（米空軍：アンジェリーク・ペレズ2等軍曹撮影）

LOCK-IN